

ビシュケク・マナス空港発着便の一部運航停止及び減便等

令和2年3月19日

- ロシア・アエロフロート航空は3月18日、ビシュケク～モスクワ間の便について一部運航停止を発表しました。フライドバイ（ビシュケク～ドバイ間）、アヴィアトラフィック（ビシュケク～イスタンブール間）も一時的に運航停止を発表しています。
- 新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、今後さらに運航停止あるいは減便が行われ、キルギスからの出国が困難になる可能性も排除できませんので、十分な注意が必要です。
- 現在行われているキルギスへの外国籍者の入国禁止措置について、「キルギス国籍者の家族」及び「キルギスに定住する者」については、対象外とされています。

ロシア・アエロフロート航空は、3月18日付ホームページ上で、ビシュケク～モスクワ間の便の運航について

- ・SU1882（※1）、SU1883（※2）は4月30日まで通常運航
 - ・SU1880（※3）、SU1881（※4）は3月22日まで運航（3月23日以降キャンセル）
- と発表しました。

また、3月19日付マナス空港のホームページでは、

- ・フライドバイ（ビシュケク～ドバイ間）は、3月28日まで運航停止
- ・アヴィアトラフィック（ビシュケク～イスタンブール間）は、4月17日まで運航停止等と発表されています。

現時点で詳細は不明ですが、新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、今後さらに運航停止あるいは減便が行われ、キルギスからの出国が困難になる可能性も排除できませんので、十分な注意が必要です。

- 【※1】21：25モスクワ発、04：50ビシュケク着
- 【※2】06：05ビシュケク発、07：55モスクワ着
- 【※3】08：00モスクワ発、15：15ビシュケク着
- 【※4】16：25ビシュケク発、18：25モスクワ着

他方、3月19日午前0時01分から開始された当地への外国籍者の入国禁

止措置について、キルギス政府に確認したところ

- 外交団，国際機関の職員及びこれらの家族
- キルギス外務省が招へいする外国政府及び国際機関の代表団構成員
- 国際貨物輸送の運転手及び乗組員，航空機乗務員及び国際鉄道の乗務員
- キルギス国籍者の家族（配偶者，子供など）
- キルギスに定住権を有する者

については，同措置の対象外であることが判明しました。